

口内のケガの 対処法

熊本県と大分県で規模の大きな地震が相次ぎました。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

今回のような震災でなくても、運動や遊んでいるときに歯をぶつけたり、ほつたを咬んだりして、口の中をケガすることはよくあります。顔の真ん中あたりをぶつけることが多いので、口の中をケガする場所は上の前歯やそのまわり、歯ぐきとくちびるをつないでいるスジ(上唇小帯)に集中します。口の中で唾液と混ざって、いっぱい出血した大きな傷のように見えることもありすが、たいていはしばらく待てば自然に血が止まります。ですから、口の中から出血があっても10分くらいは様子を見てください。ガーゼなどで傷口を押さえておくと止血が早くなります。血が止まれば、ぶつけても歯科医院に行かなくて大丈夫です。口の中は治りが早いので、傷あとが残ることはありません。なかなか血が止まらない場合は、歯科を受診してください。

しばらく待たずすぐに歯科を受診するほうがいいのは、歯のトラブルです。歯が折れたりヒビが入ったりした場合、そこから細菌が入り込み、歯の神経に感染することがあります。眠れないほど痛くなると、神経を取らないといけなくなる



お話しいただいたのは
近藤 嘉人 院長



こともありますので、そうなるまえに欠けたところをカバーしておくことが大切です。時間がたつと感染のリスクが高くなるので、歯が折れるなどした場合はできるだけ早く歯科を受診してください。

また、歯がグラグラと動いている場合も、そのままにしていると痛くて食事がとりづらくなりますし、歯が抜けてしまうこともあります。顔をぶつけたときは歯が動いていないか、1本ずつ指で歯をつまんで確かめて、動いているならすぐに歯科を受診して歯を固定します。めったにありませんが、ぶつかって歯が抜けてしまった場合は、抜けた歯を牛乳につけて歯医者に持っていくと、元に戻すことができます。

旅行や帰省先でケガをして、かかりつけの歯科医院を受診できないときは、近くの歯科医院

か、「口腔外科」を受診してください。大病院や総合病院の口腔外科は、夜おそい時間でも診療しているところもあります。また各地の「歯科医師会」で日曜日や祝日も対応できる場所がありますので、問い合わせられるとよいでしょう。

ケガは避けられませんが、対応を知っていれば、そのあとのトラブルを避けることができます。お口の中のトラブルはすべて歯科が担当すると覚えておかれると、いざというときに役に立ちます。



情報クリップ

こどもの歯科 待合室にて絵本を楽しむ「元気わくわくおはなし会」を毎月開いています。くわしくは、ホームページをご覧ください。受付または司書までお問い合わせください。

医療法人 元気が湧く こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00~18:30
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●休診 火曜・祝日(土日診療)

院長 経歴 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
〈市営 大橋駐車場をご利用ください〉

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

